

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 上山 健二
 (コード番号:3612 東証第一部)
 問合せ先 グループ常務執行役員 中林 恵一
 (電話番号:IR室 03-6851-4830)

2020年3月期 (2019/4/1~2020/3/31)		上期						下期						通期 Full Term		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.		2H	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	97.9	101.1	98.6	96.4	106.2	105.6	100.6	90.0	98.5					94.4	98.9
店舗売上	※2	97.3	100.8	98.4	95.6	105.5	104.5	100.0	88.5	97.4					93.1	98.1
既存店売上	※3	98.1	101.5	96.9	93.7	102.9	101.3	98.8	87.3	94.7					91.2	96.7
Eコマース売上	※4	103.8	104.2	100.6	103.2	113.8	116.8	106.4	※6 104.3	109.1					106.8	106.5
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,455	2,452	2,515	2,505	2,488	2,486	-	2,491	2,493					-	-
出店		16	2	6	4	2	17	47	9	8					17	64
退店	※5	2	5	1	14	19	19	60	4	6					10	70
M&A	※5	46	0	58	0	0	0	104	0	0					0	104
既存店対象店舗数	※3	2,191	2,203	2,189	2,192	2,162	2,173	-	2,169	2,171					-	-

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。
 また、通期の列においては、当期の期初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上にのみ限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、今期よりティンパンアレイ社の既存店も既存店売上に含まれます。また、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しており、ファッション・コラボが運営するECモール「ファッションウォーカー」等で扱う他社ブランドの商品売上を含んでおりません。

※5 4月からヒロフ社が、6月から神戸レザークロス社が連結加入しており、M&Aで合計104店増加しています。一方、神戸レザークロス社は今期に構造改革を集中的に推進していることもあり、11月累計の退店数には同社による店舗閉鎖7店を含んでおります。

※6 10月Eコマース売上前年比が速報値の104.2%から104.3%に修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月

+1

前年同月

△1

・当月は、国内小売売上が前年同月比98.5%となり、内訳は店舗売上が同97.4%、Eコマース売上が109.1%となりました。既存店売上は前年同月比94.7%であり、当期累計で前年同期比96.7%となりました。

また、当月の休日数は前年同月に比べて1日増であり、既存店売上ベースで+1.5%程度のプラス影響があったと推計しております。

・当月は前月終盤の売上回復の流れを受けて順調な滑り出しでしたが、中旬の気温が下がりがりかなかったことで重衣料の動きが鈍化しました。

このため、セーター等のトップスは堅調だったものの、コートやジャケットといったアウターが全般的に低調に推移し、最終週の気温低下でアウターが前年超の活発な動きに転じたものの、中盤の落ち込みを回復するには至りませんでした。

・ブランド別では、気温変動の影響を受け難いブランドが相対的に健闘し、具体的には雑貨業態のイツデモやワンズテラス、インティメイトのリサマリが底堅く推移しました。

このほか、ユーズドセレクトのラグタグ、ショッピングセンターの主力ブランドであるオパークドットクリップ、シューラールなども堅調でした。

(参考:前期実績)

2019年3月期 (2018/4/1~2019/3/31)		上期						下期						通期 Full Term		
		4月 Apr.	5月 May	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	3月 Mar.		2H	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		99.3	93.3	103.3	95.5	102.9	98.2	98.4	102.2	97.1	104.3	99.4	103.2	99.4	100.7	99.6
店舗売上		97.7	91.5	102.7	93.9	101.8	99.1	97.4	101.1	96.5	103.5	98.1	100.2	98.7	99.6	98.5
既存店売上		94.9	89.2	100.6	93.3	98.2	95.5	95.0	97.3	95.0	100.6	99.1	101.0	99.8	98.7	97.0
Eコマース売上		119.9	116.8	109.4	113.2	114.3	89.6	110.1	114.1	103.6	111.7	111.3	128.4	106.1	111.6	110.9
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,432	2,427	2,429	2,407	2,389	2,388	-	2,390	2,403	2,406	2,374	2,371	2,395	-	-
出店		7	1	6	4	2	14	34	6	15	4	0	5	33	63	97
退店		3	6	4	26	20	15	74	4	2	1	32	8	9	56	130
既存店対象店舗数		2,095	2,098	2,096	2,081	2,049	2,050	-	2,085	2,096	2,095	2,165	2,136	2,138	-	-